

看護師国家試験徹底解説 臨床検査 2025. 3. 17

106PM-36 検査の目的と採尿方法の組合せで正しいのはどれか。

- (1) 細菌の特定 — 中間尿
- (2) 腎機能の評価 — 杯分尿
- (3) 肝機能の評価 — 24 時間尿
- (4) 尿道の病変の推定 — 早朝尿

- (1) 細菌の特定 — 中間尿（尿道の細菌の混入を予防するため初めの尿を捨てる）
- × (2) 腎機能の評価 — 杯分尿（24 時間尿、クレアチニンクリアランスなど）
- × (3) 肝機能の評価 — 24 時間尿（早朝尿または随時尿、ウロビリノーゲン、ビリルビンなど）
- × (4) 尿道の病変の推定 — 早朝尿（杯分尿の前半 2/3 を使用）

* 採尿法のまとめ

- ・ **中間尿**：出初めの尿を捨てて中間の尿を採取（膀胱の病変を検査）
- ・ **杯分尿**：前半 2/3 と後半 1/3 を別々の容器に採取（前半は尿道の病変、後半は前立腺、膀胱の病変を検査）
- ・ **早朝尿**：起床後飲食前に採尿（飲食、運動の影響の排除、尿の濃縮能の検査）
- ・ **24 時間尿**：24 時間蓄尿（1 日尿量、24 時間クレアチニンクリアランスなど腎機能の検査）

114AM-79 過剰に摂取すると試験紙法による尿潜血検査が**偽陰性**となるのはどれか。

- (1) 葉酸
- (2) ビタミン A
- (3) ビタミン B1
- (4) パントテン酸
- (5) アスコルビン酸

- × (1) 葉酸
- × (2) ビタミン A
- × (3) ビタミン B1
- × (4) パントテン酸
- (5) アスコルビン酸（潜血、ビリルビン、尿糖は酸化反応による試薬の色の変化を検出する検査なので**還元作用**を有するアスコルビン酸（ビタミン C）を摂取している患者では偽陰性になる可能性がある）

108PM-74 採血の際、血液が凝固するのを防ぐために試験管にクエン酸の結晶を入れておくことがある。クエン酸によって血液から除かれるのはどれか。

- (1) トロンビン
- (2) プラスミン
- (3) カルシウムイオン
- (4) ナトリウムイオン
- (5) フィブリノーゲン

- × (1) トロンビン（フィブリノーゲンからフィブリンを生成する凝固因子）
- × (2) プラスミン（フィブリンを分解する）
- (3) カルシウムイオン（クエン酸のキレート作用により Ca^{2+} が配位結合する。 Ca^{2+} は凝固因子）
- × (4) ナトリウムイオン
- × (5) フィブリノーゲン（凝固因子）

107AM-15 肝障害の指標となる血液生化学検査の項目はどれか。

- (1) CRP
- (2) 尿素窒素
- (3) アミラーゼ
- (4) ALT (GPT)

- × (1) CRP (炎症マーカー)
- × (2) 尿素窒素 (腎機能検査、クレアチニン、尿素窒素など)
- × (3) アミラーゼ (膵炎)
- (4) ALT (GPT) (肝機能検査、AST、ALT、LDH、AIP、 γ -GTP、LAP など)

108PM-25 腎機能を示す血液検査項目はどれか。

- (1) 中性脂肪
- (2) ビリルビン
- (3) AST (GOT)
- (4) クレアチニン
- (5) LDL コレステロール

- × (1) 中性脂肪 (脂質異常症、総コレステロール、中性脂肪、HDL コレステロール、LDL コレステロールなど)
- × (2) ビリルビン (黄疸で上昇、肝機能検査)
- × (3) AST (GOT) (肝機能検査、AST、ALT、LDH、AIP、 γ -GTP、LAP など)
- (4) クレアチニン (腎機能検査、クレアチニン、尿素窒素など)
- × (5) LDL コレステロール (脂質異常症)

112AM-16 炎症マーカーはどれか。

- (1) CA19-9
- (2) 抗核抗体
- (3) C 反応性蛋白質 (CRP)
- (4) リウマトイド因子 (RF)

- × (1) CA19-9 (腫瘍マーカー)
- × (2) 抗核抗体 (SLE の自己抗体)
- (3) C 反応性蛋白質 (CRP) (炎症)
- × (4) リウマトイド因子 (RF) (関節リウマチの自己抗体)

113AM-86 エックス線を用いて行う検査はどれか。2 つ選べ。

- (1) 脳波検査
- (2) 筋電図検査
- (3) 頭部 CT 検査
- (4) サーモグラフィ
- (5) 上部消化管造影検査

- × (1) 脳波検査
- × (2) 筋電図検査
- (3) 頭部 CT 検査
- × (4) サーモグラフィ (赤外線)
- (5) 上部消化管造影検査

111PM-85 放射性同位元素を用いるのはどれか。

- (1) 脳血管造影
- (2) 膀胱鏡検査
- (3) 頭部 CT 検査
- (4) 腹部超音波検査
- (5) 骨シンチグラフィ

× (1) 脳血管造影 (X 線検査、造影剤)

× (2) 膀胱鏡検査 (内視鏡検査)

× (3) 頭部 CT 検査 (X 線検査)

× (4) 腹部超音波検査 (超音波エコー検査)

○ (5) 骨シンチグラフィ (放射性同位元素を投与して体外へ放射される放射線を検出する検査、他に心筋シンチグラフィ、甲状腺シンチグラフィなど)

110AM-38 生体検査はどれか。

- (1) 喀痰検査
- (2) 脳波検査
- (3) 便潜血検査
- (4) 血液培養検査

× (1) 喀痰検査 (検体を採取して行う検査)

○ (2) 脳波検査 (人体から直接情報を引き出す生体検査：心電図、脳波、呼吸機能検査など)

× (3) 便潜血検査 (検体を採取して行う検査)

× (4) 血液培養検査 (検体を採取して行う検査)

109AM-43 ペースメーカー植込みの有無を事前に確認すべき検査はどれか。

- (1) 超音波検査
- (2) エックス線撮影
- (3) 骨シンチグラフィ
- (4) 磁気共鳴画像 (MRI)

× (1) 超音波検査

× (2) エックス線撮影

× (3) 骨シンチグラフィ

○ (4) 磁気共鳴画像 (MRI) (強力な磁気的作用でペースメーカーが誤作動する可能性)

* MRI 検査前の確認事項のまとめ

- ・ ペースメーカー (磁気により誤作動)
- ・ 補聴器 (磁気により発熱、誤作動)
- ・ 携帯電話 (磁気による発熱、故障)
- ・ 使い捨てカイロ (磁気により発熱)
- ・ キャッシュカード (磁気により障害)
- ・ 閉所恐怖症

107PM-45 造影 CT の際に最も注意が必要なのはどれか。

- (1) 閉所に対する恐怖がある患者
- (2) 気管支喘息の既往がある患者
- (3) ペースメーカーを装着している患者
- (4) 既往に上部消化管造影検査後の腹痛がある患者

- × (1) 閉所に対する恐怖がある患者 (MRI 検査で注意)
- (2) 気管支喘息の既往がある患者 (造影剤アレルギーを起こす頻度が高い)
- × (3) ペースメーカーを装着している患者 (MRI 検査で注意)
- × (4) 既往に上部消化管造影検査後の腹痛がある患者 (上部消化管造影検査で注意)

108PM-40 成人に行う頭部 MRI 検査で正しいのはどれか。

- (1) 造影を伴わない場合は検査直前まで飲食してよい。
- (2) 使い捨てカイロは装着したままでよい。
- (3) 検査中は手足を自由に動かしてよい。
- (4) 補聴器は装着したままでよい。

- (1) 造影を伴わない場合は検査直前まで飲食してよい。
- × (2) 使い捨てカイロは装着したままでよい。(強力な磁気により発熱し火傷する可能性)
- × (3) 検査中は手足を自由に動かしてよい。(体動によるアーチファクトを予防)
- × (4) 補聴器は装着したままでよい。(強力な磁気により発熱または故障の可能性)

112AM-43 MRI 検査室に持ち込んでよいのはどれか。

- (1) 耳栓
- (2) 携帯電話
- (3) 使い捨てカイロ
- (4) キャッシュカード

- (1) 耳栓
- × (2) 携帯電話 (強力な磁気により発熱または故障の可能性)
- × (3) 使い捨てカイロ (強力な磁気により発熱し火傷する可能性)
- × (4) キャッシュカード (強力な磁気による障害の可能性)

106AM-41 ヨード制限食が提供されるのはどれか。

- (1) 甲状腺シンチグラフィ
- (2) 慢性腎不全の治療
- (3) 肝臓の庇護
- (4) 貧血の治療

- (1) 甲状腺シンチグラフィ (食事中的ヨードは甲状腺の放射性ヨードの取り込みを抑制する)
- × (2) 慢性腎不全の治療
- × (3) 肝臓の庇護
- × (4) 貧血の治療